

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		親子ふれあい講座実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	西川正則
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	福田 有里子
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供			所属班	図書館班	(内線)	1540
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	5
		1	10	5	8	10809		コスト削減優先度評価結果	9
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H16 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	司書が講師を務め、テーマに沿った本を中心に親子で製作活動をする。親子で読書活動の楽しさを味わい親しみ、感動を共有することで読書推進を図ることを目的に平成8年度に開始された。参加人数は安定している。図書館利用数及び貸出し数が増加している。
【業務の流れ】	製作内容の決定、参加者募集チラシ作成及び配布、準備物購入、参考資料作成配布、当日の会場設営及び受付
【主な予算費目】	需用費(消耗品費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	参加体験する講座は年数回開催してほしい。 手作りのものを子どもと一緒にできてよかった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
司書が講師となり、絵本『ラチとらいおん』にでてくる”勇気をくれるライオン”のマスコットを、フェルト、毛糸、刺繍糸等を用いて親子で製作活動を実施した。	21年度と同様に、親子で読書活動の楽しさを味わい、感動を共有することができる制作活動を実施する。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
⇒ ア 開催回数	回
	イ 参加者募集人数
	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
合志市の親子等(子どもは小学生以下)	⇒ ア 参加者人数
	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
親子で本に関わる製作活動をし、感動を共有する中で読書へと導く。	⇒ ア 参加者募集人数に対する参加者の割合
	%
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
・参加者募集人数に対する参加者の割合により、講座への関心度と参加機会への公平性が判断できる。 ・親子を対象にした講座のため、安全面でも参加者40名以内が望ましい。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	
	イ	人	75	40	40	40	40	40	
⑤ 対象指標	ア	人	71	32	40	27	40	40	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	90	80	80	68	100	100	
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円				3		
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	15	6	10	6	10	6
	(A) 事業費計	千円	15	6	10	9	10	6	0
		(A)のうち指定経費	千円						
		(A)のうち時間外、特勤	千円						
		正規職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2
(B) 人件費	延べ業務時間	時間	16	16	16	50	16	16	
	(B)人件費計	千円	64	64	64	199	64	64	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	79	70	74	208	74	70	

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

事務事業名	親子ふれあい講座実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷ 当日欠席した親子が3組あったため。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ 親子で製作体験活動できる講座は、毎年事業対象者に好評である。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 活動内容を検討する余地がある。針を用いた製作は幼児の参加が少ない。幼児も小学生も参加しやすい活動内容にしていきたい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ 一年の事業の中において、話題性ある大きな目玉となる事業が核としてあり、その他参加しやすい事業があることが市民へのサービスに繋がる。他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 事業費の削減については、毎回工夫を凝らし手作りのもので対応している状況にありこれ以上の削減は考えられない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 現在、講師は非常勤職の図書館司書が務めている。これ以上の削減は出来ない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 図書館法により無料の原則に則って運営している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 材料等経費がかかっており、参加費無料で開催できるのは公共図書館において他にない。製作体験活動ができる講座は多数あるが、製作する喜びを読書する楽しみへと導く講座は他に類を見ない。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者に、大好きな絵本の主人公を親子で一緒に製作し、実際に手に触れる体験で心満たされる時間を体験いただいた。今回の体験を、読書の楽しみにつなげることができた点で十分な成果があった。</li> <li>・針を用いた製作であったので、幼児の参加が少なかった。</li> </ul>
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 目的再設定    <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携    <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)    <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>・幼児も参加しやすいように、内容を検討する余地がある。</p> <p>・当日欠席者を想定し事業準備等進める事で効率性改善が図られると思われる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>・「絵本の中のお菓子作り」「児童書を参考にしたりがみ遊び」など、読書活動を通じてもっと親子で感動を共有できるよう内容を企画する。</p>																						